



慶應義塾大学ビジネス・スクール

ユナイテッド・スポーツクラブ

エグザス下北沢

1989年 9月、小田急線下北沢駅の近くに“ユナイテッド・スポーツクラブ エグザス下北沢”が開業した。このスポーツクラブは、“フィットネスクラブ ティップネス下北沢”（1989年 3月開設）、“トーア・セントラル・フィットネスクラブ”（1988年 4月開設）に次ぐ下北沢地域における3番目のフィットネスクラブであった。ユナイテッド・スポーツクラブ エグザス下北沢の開業にあたって、同クラブではフィットネス・クラブ産業が変化するなかで、また、競争の激しい下北沢地域にあって今後どのような経営を行っていたら良いかを検討していた。

日本の余暇市場の現状

平成元年度の日本の余暇市場の規模は63兆4,540 億円である。これは昭和63年の58兆6,790 億円と比較して 8.1%の伸びであり、昭和63年度の伸び率 8.7%に引き続き依然拡大傾向を続けている。またわが国の余暇市場規模は国民総支出（名目） 391兆2,990 億円の16.2%、民間最終消費支出（名目） 220兆3,240 億円の28.8%を占め、この割合は年々増加傾向にある。（付属資料1 参照）

このケースは刊行資料を下にして慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授和田充夫が作成したものである。このケースは教材として開発したものであり、特定の経営管理上の巧拙を論評するものではない。

1990年 6月